

部会名	障害児支援専門部会（事務局：障害支援課障害児・発達障害支援係）
部会の目的	障害児支援の総合的かつ統一的な施策について調査、研究等を行うことを目的として設置。
開催日時 及び 議事概要	<p>【第1回】令和4年10月25日（火）</p> <p>1) <u>ロードマップについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より、昨年度までの記載方法から変更し、施策目標での単位より大きな単位である、ローマ数字での項目「Ⅳ 児童発達支援センターの機能強化」、「Ⅴ 学齢期支援の充実」、「Ⅷ 家族への社会的支援の充実」、「Ⅹ 障害児支援体制の整備と推進」を重点検討項目として定めることを提案し、了承を得た。</li> <li>委員より、重点検討項目の見直しのスパンについて質問があったが、期間は特に定めておらず、進捗を見ながら適宜見直していると事務局より説明した。</li> <li>委員より、ヤングケアラーなど新たに検討すべき項目も出てきており、支援が漏れないよう障害児を取り巻く状況を注視し続ける必要がある。</li> </ul> <p>2) <u>施策目標の進捗状況について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より、令和3年度の重点検討項目について、現状と達成状況、今後の方向性について報告した。</li> <li>委員より、児童発達支援センターの知識やノウハウが地域の事業所にフィードバックされるようなシステムがあればよりよいという意見や、国で「強度行動障害を有する者の地域支援体制に関する検討会」が始まり、児童期における早期支援がますます重要視されていくのではないかという意見があった。</li> </ul> <p>3) <u>通園・通所状況について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度に実施した通園・通所状況の調査について、集計結果を報告した。</li> </ul> <p>4) <u>実態把握（第37回）の報告及び実態把握（第38回）の実施について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度に実施した実態把握の集計結果を報告し、令和4年度調査案を提示した。</li> </ul>
開催日時 及び 議事概要	<p>【第2回】令和5年1月30日（月）</p> <p>1) <u>ロードマップ 重点検討項目について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より、本市の障害のある児童・生徒の状況について報告。</li> <li>障害種別の内訳としては、小・中学校とも自閉症・情緒障害が半数を占め、知的障害を上回っている。</li> <li>支援教育課では、主な取り組み事業として特別支援推進事業、特別支援</li> </ul>

	<p>教育環境整備事業などがあり、支援学級への介助員の配置や医療的ケアの看護師派遣、発達障害児等専門家派遣などを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 1 回会議で委員より質問を受けた、障害児と虐待の関連性について、事務局から、“全要保護児童に占める療育手帳保有児童数の割合”は“全児童に占める療育手帳保有児童数の割合”と比べ約 3.4 倍と高く、確かな相関が見られるとの説明があった。</li> <li>・ 委員より、課題は多いが、教育委員会とも積極的に連携し、子ども園や児童発達支援センター後の児童に対して、支援の切れ目のないよう、今後も施策の充実を図ってほしい、等の意見があった。</li> </ul> <p>2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堺市医療的ケア児等コーディネーター養成研修について報告した。</li> </ul>
<p>今後の方向性等</p>	<p>令和 5 年度以降も、継続審議（計 2 回程度開催）</p>
<p>参考資料</p>	<p>別紙 1 「ロードマップ」 別紙 2 施策目標の進捗状況</p>